



長等の里 買い物支援

社会福祉法人と地域住民と社会福祉協議会の協同による買い物支援

社会福祉法人 幸寿会
特別養護老人ホーム
施設長

長等の里
大下博也

1

PART 01

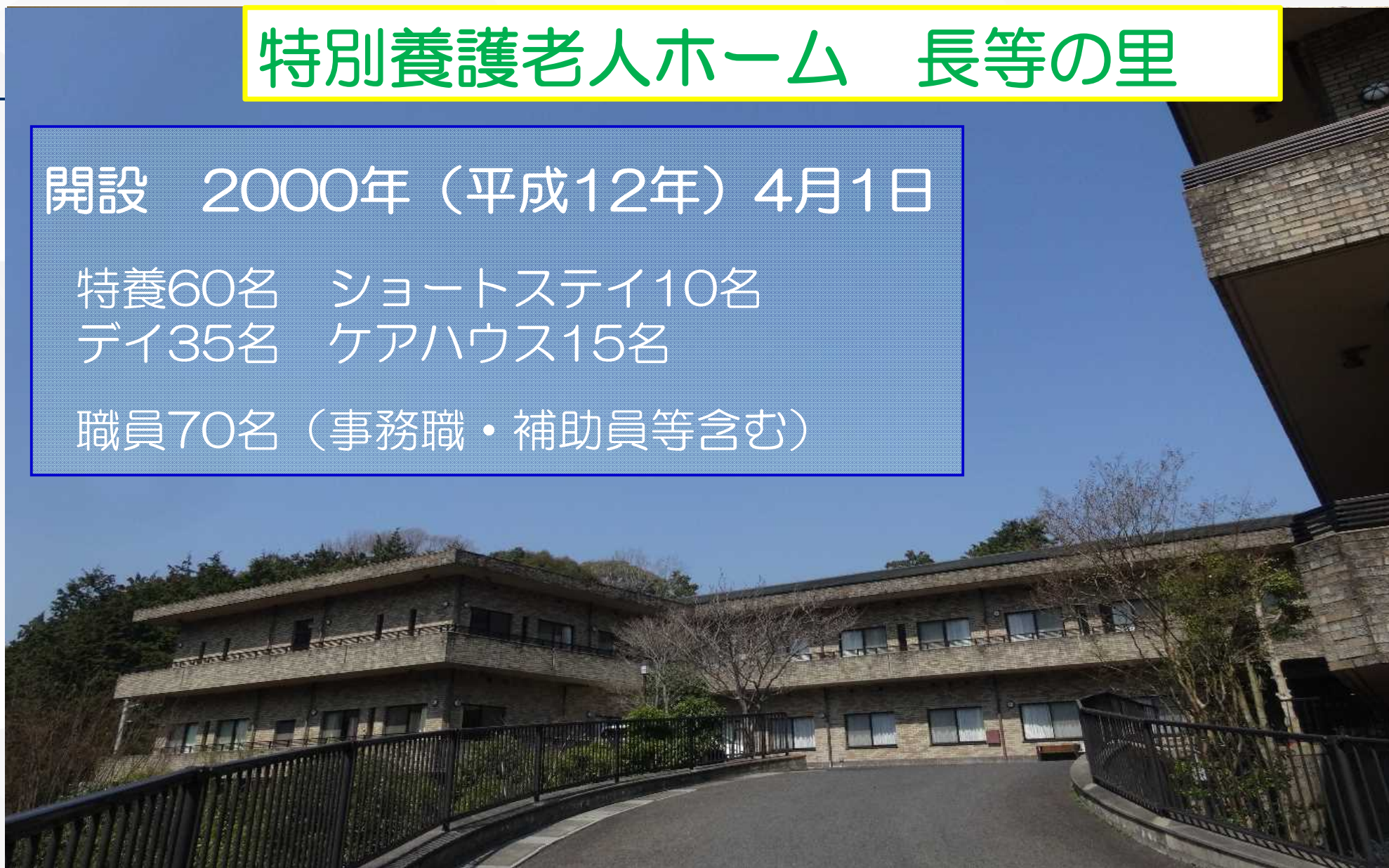
買い物送迎の取り組みに至るまで

特別養護老人ホーム 長等の里

開設 2000年（平成12年）4月1日

特養60名 ショートステイ10名
デイ35名 ケアハウス15名

職員70名（事務職・補助員等含む）



近くには観光名所もあります

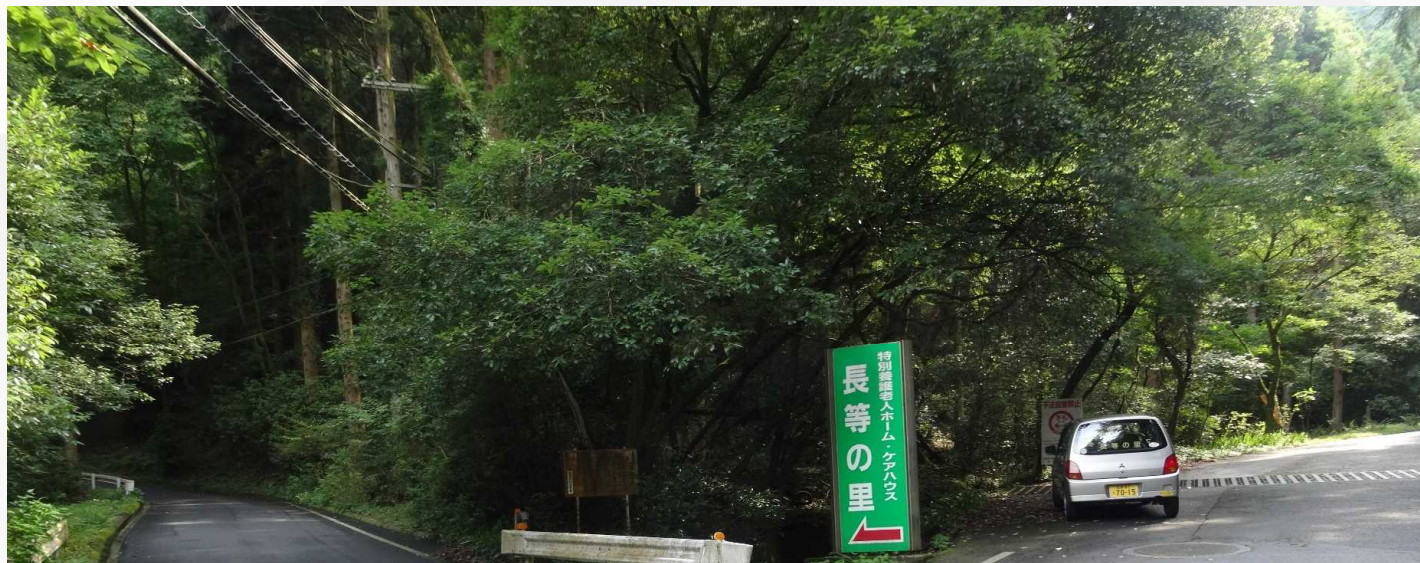
三井寺

琵琶湖疎水



いずれも長等の里から車で10分以内

長等の里の周辺環境は・・・



大津駅から車で10分ほどですが、山手にあります。立地的に気軽に歩いて来ていただきにくい場所にあり、ここ数年の地域の方々との交流は、こちらから出向いていくことを基本として活動しています。

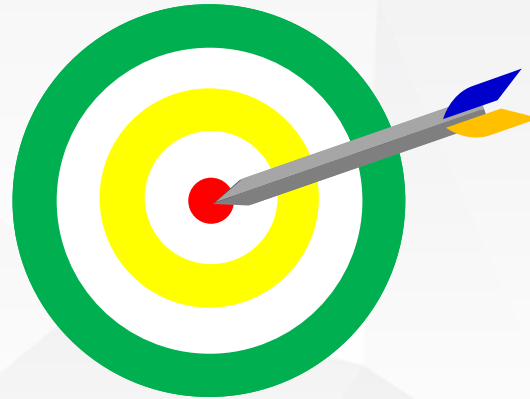
地域への取り組み



周辺学区との交流



小関町自治会加入



周辺学校との交流

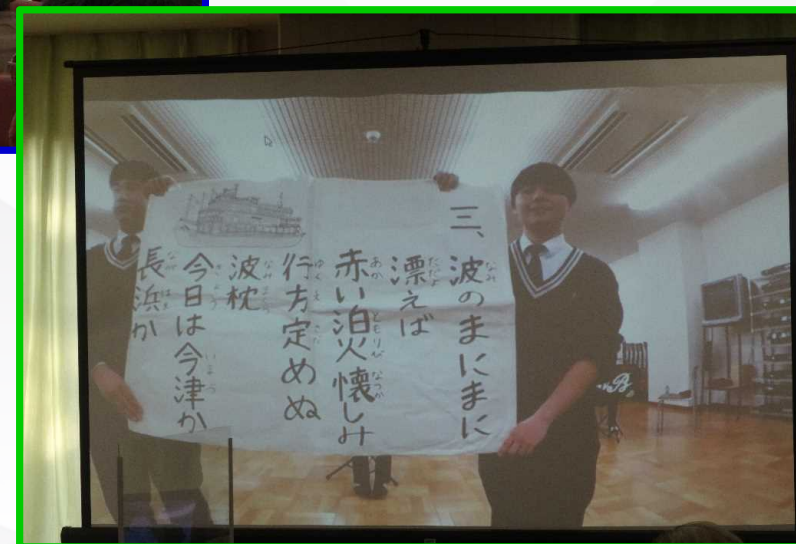
買い物支援の取り組みから、地域交流が始まったわけではなく、数年間の様々な交流があって、買い物支援につながりました。

大津100円商店街



大津商業高等学校オンラインイベント

三井寺、学校からデイサービスへ中継



お困り事を伺う機会も増える

大津市社協からの情報提供

大津市内で買い物弱者が
身近にいることを知る

ここでは買い物に困られている方
⇒買い物弱者とさせていただきます

小関町にも
買い物弱者が
おられることが分かる

長等の里として何か
できることはないか？

2

PART 02

買い物支援の取り組みについて



小関町について



小関町にて買い物送迎を開始



令和2年4月

正式運行開始

○規約、運営方法を整えて正式運行開始

お試し期間中無料に対して、かなり遠慮をされるため、年間500円を頂くことにする。

お金を頂くことについて(陸運局確認)
道路運送法「登録を要しない運送」の範囲に留めることも念頭に決める

令和元年10月

お試し運行開始

○お試し運行は無料で実施する

運転者の業務の兼ね合いから
毎週木曜日
10時に集合とする

★運行決定(8月)

平成31年4月

自治会長に提案

○小関町サロンにてアンケートを実施

74名(サロン参加者)
うち4名は利用希望

32名は将来的に利用したい希望あり

平成30年2月

○小関町で買い物にお困りの方がおられると知る

買い物運行時の様子

大津京のイオンに
送迎しています。



小関町実績

令和元年10月4日～令和4年10月20日

実施回数 139回

総利用者数
643名

参加者数 10名
(レギュラー6名)
平均年齢 74.5歳
最高齢 89歳

実績

平均利用者数 4.6名

最高利用回数
119回

対応職員 3名

令和2年4月以降コロナ対策を実施し運行
マスク・検温・消毒・車内換気・座席記録など



3

PART 03

活動の広がり

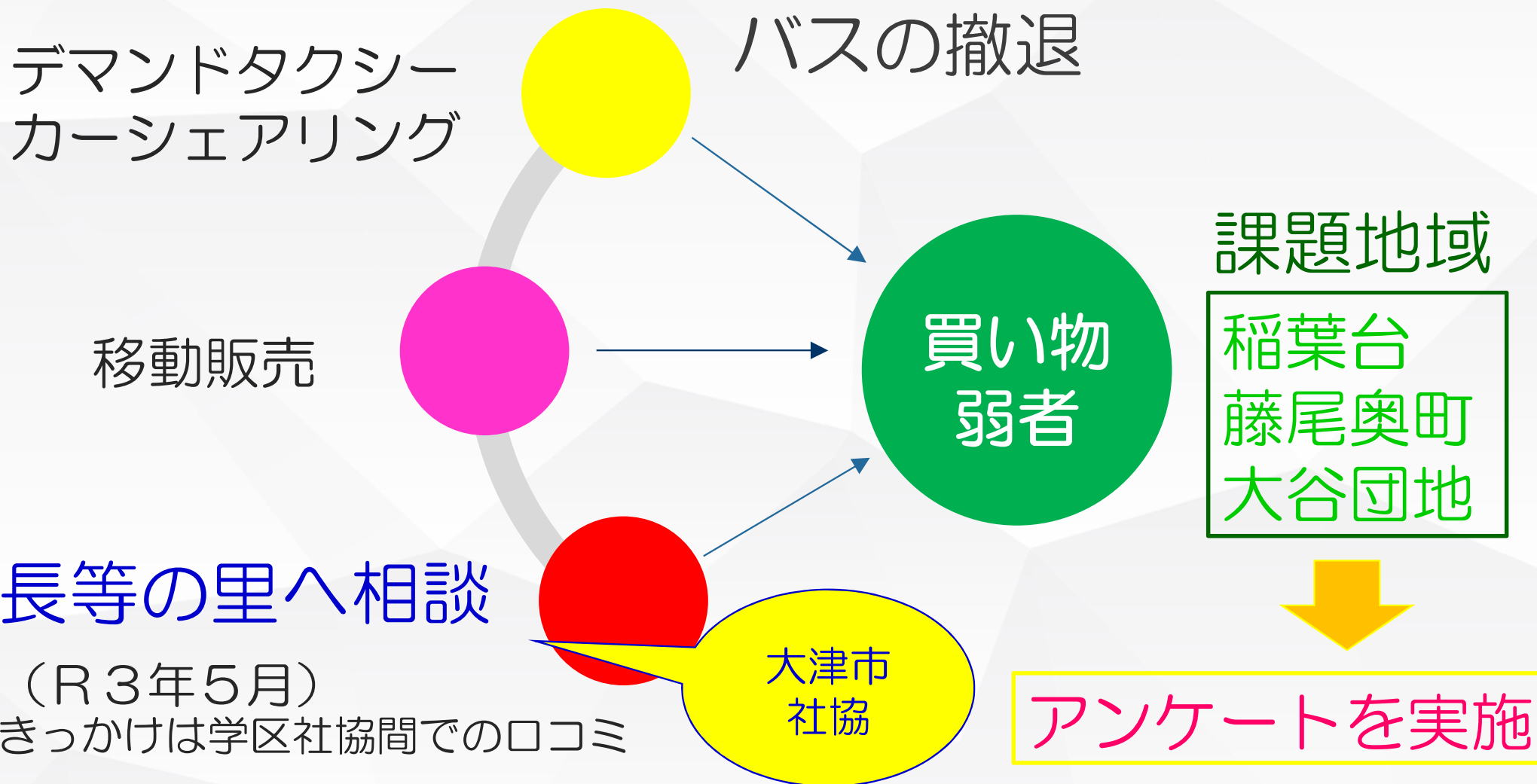
藤尾学区の取り組み

稲葉台は山の斜面を造成して住宅地にしています。そのため、団地内も高低差があります。藤尾奥町や大谷団地も同様に平坦な土地ではなく、高齢になってからの移動は負担が大きい現状があります。

稲葉台



買い物弱者への取り組みは様々されていた



アンケートを実施

説明会を実施していく

★対象学区

藤尾奥町
稲葉台

大谷団地は生協の送迎バスを
利用していくことになる

買い物弱者

課題地域

稲葉台
藤尾奥町
大谷団地



運行決定

両者にとって負担が偏らない運営

参加者と一緒に取り組みを作っていききたい

○集合場所の設定・連絡出欠確認と施設への前日連絡をお願いしたい。

事故時の対応

○施設としてできることはさせて頂くが、全てを補償することはできないことをご理解いただきたい

ご要望の対応の限度

○できるだけご要望にはお答えしたいが、曜日、送迎場所、送り場所など、全てをご要望通りに対応することは難しいことをご理解いただきたい。

運行決定から実施までの準備（藤尾学区側）

令和3年11月時点の希望者
稲葉台13名 藤尾奥町2名

①グループ編成の決定

希望回数に幅があること

や、

運営のやり易さから、3班に分けて編成される⇒3週に1回のペースで利用

②集合場所の決定

稲葉台は広いため、4か所の集合場所を設定される。

③連絡役は民生委員

前日に参加者連絡等をして

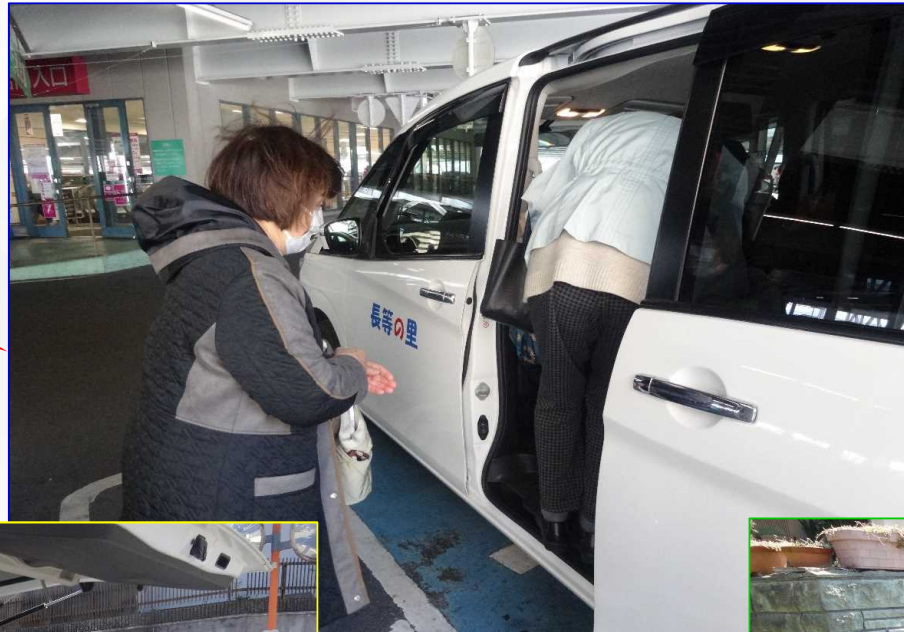
民生委員さんお二人が
取りまとめをされる



令和3年12月10日(金)より
令和4年2月末までお試し運行決定

買い物運行時の様子

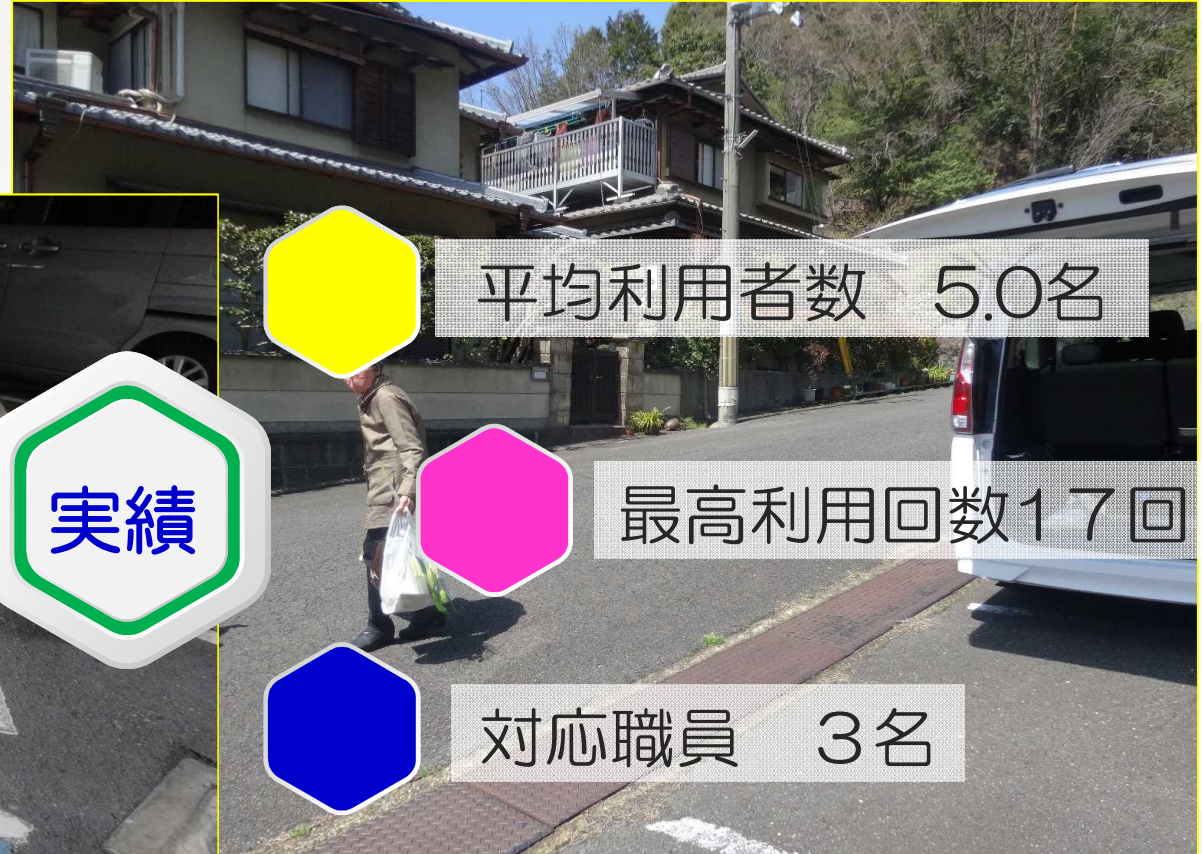
買い物だけでなく散髪も
される方もおられます。



実績

令和3年12月10日～令和4年10月21日

正式運行R 4年3月開始



実施回数 41回

総利用者数
209名

登録者数 23名
(うち男性2名)

平均年齢 78.9歳
最高齢 90歳

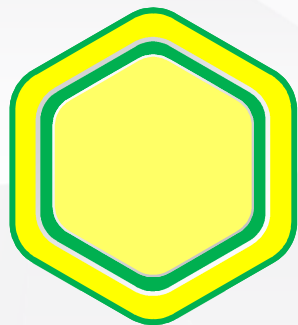
平均利用者数 5.0名

最高利用回数17回

対応職員 3名

実績

長等の里の職員の実働状況



担当職員

大下の他、課長等3名が運転担当

大下だけでなく、他の職員にも
地域交流の取り組みを担ってもらう

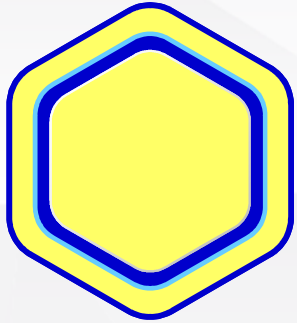


○職員の実働時間

9:30～12:30（帰設後の送迎車消毒作業も含む）

- ★途中10:20～11:40の間は施設にて業務を行っている。大下以外の職員は日常業務への負担を減らすために、送りと迎えを分担している。運転時間は30分程度のため、大きな業務負担は掛かっていない。

費用面について



ガソリン代

人件費は業務の一部として捉えるため除く



小関町と藤尾学区の送迎合わせて

およそ年間21,500円程度の施設負担
(1回215円程度／年100回運行)



藤尾学区内の動き



代表者の役割 （出欠の確認）

前日にリーダーさんが、各参加者に確認をされ、長等の里まで利用者、人数の連絡を担当して下さい。

⇒そのことで普段から交流の機会が来ています

お試し期間中は、民生委員さん2名が様々動いて下さいました。正式運行後は、リーダー3名を加えて5人で管理できるように体制を組まれています。現在、民生委員さんは世話役として集金等担われています

今、課題となっていること

★ 新規受け入れ・実施体制

長等の里として受け入れできるのは
あと1地域、1曜日程度で余力がない



★ 取り組みの認知 (他施設・外部)

県内、市内で福祉施設がこのような
取り組みをしている事例はほとんど聞か
ない。そのため、情報共有ができない。

また、どこに相談すればいいのか分からない。

課題

成果と皆さんのコメント（小関町・藤尾学区）

地域貢献と認知

○地域のお困りごとに対して施設として行えることを形にできた。

○自治会活動としても報告していただけるようになった。

○施設として地域に役に立っている実感を感じている。

新たな交流の場

○買い物送迎を通じて、疎遠になりがちな町民同士のつながりと、外に出る機会を作ることができた。

買い物送迎

免許返納してから外出が減っていた



家族の都合に合わせてことなく、一人で自由に買い物でき、嬉しい



今までイオンに行くのに1日掛かりが15分で行けるようになった



これがあるし、みんなに会える



足腰の弱い利用者は自宅前まで送り届けてもらい、ありがたい



今後も大事にすべき点は共通する



普段のつながり

○地域の方が何に困られているのか、交流しないと分からない。



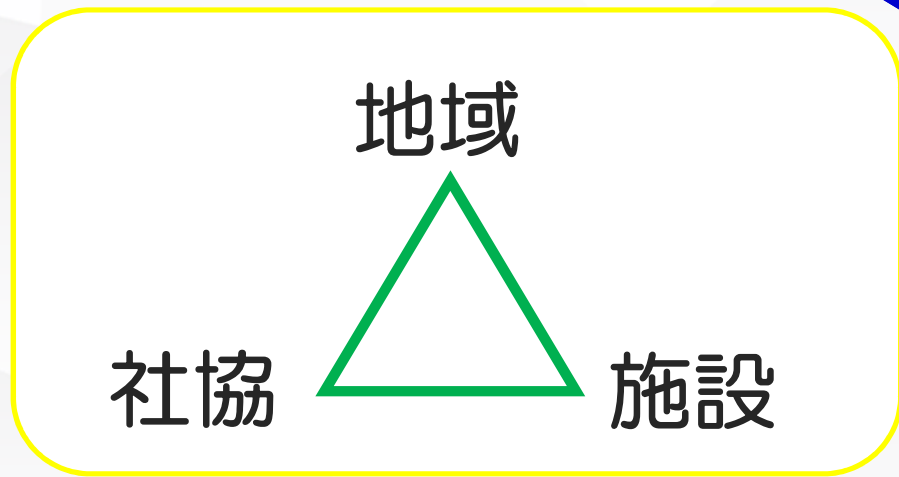
継続を大事にする

○大々的にしない。
○お互いに負担が大きくなるようにする



一緒に携わってもらおう

○施設が全部やらない。
地域の方にも参加していただく。





ご清聴ありがとうございました